特定非営利活動法人ゆう・さぽーと　　2015年 7月 1日　発行

ゆう☆さぽ 通信

2015年7月
NO.18

〒610-0117　京都府城陽市枇杷庄島ノ宮80-127
TEL/FAX　0774(26)3007
E-mail　yusapo@me.com

ホームページ　【ゆうさぽ】で検索！
そらいろブログ　QRコードを読み取り→

年度目標
エンパワーメント

先を見据えた支援体制作りを考えています

『エンパワーメントする』という年間目標を立てた今年度がスタートし、早4ヶ月が過ぎました。毎年、年度始めにテーマを決め、年度始め会議にて確認を行います。そういろ開所初年度は『地域に根ざす』でした。その後、『支援力アップ』『一人一人に合わせる』と続き、今年度の目標に至りました。

『エンパワーメント』とは何でしょうか。障がい福祉だけでなく、市民活動の分野などで使われる言葉です。「人が本来持っている内なる力を湧き出させること」のような感じで捉えています。これを当法人の活動に当てはめると、どうなるでしょうか。エンパワーメントの対象となるのは、当法人が提供する福祉サービスの受け手である利用者の方だけではなく、サービスの担い手であるスタッフに対しても考えています。

当法人は支援者であるスタッフ育成に力を注いできました。『支援力アップ』を掲げた二年目から職員研修の充実を図り、三年目の『一人一人に合わせる』では、スタッフ一人一人に合わせた研修計画やキャリアパスの整備を行いました。一人一人のスキルや経験、モチベーションに合わせた『働き方』を追求しながら進めてきた3年間でした。そして、今年度は一人一人に合わせた働き方を通じて、個々のスタッフがエンパワーメントできるような職場環境づくりに力を入れていく予定です。具体的な取り組みとしては、各スタッフが得意なスキルを活かして活躍できる場を作ることをしています。パソコンスキルが高いスタッフは職場内の『パソコン勉強会』の中で、講師として他スタッフに教えます。正職員やパートというような雇用形態に囚われず、適材適所でやりがいを持って働ける環境を目指しています。各スタッフとの面談を行い、働き方の希望や興味関心、強みや弱みを確認し、計画的に戦略的にスタッフの育成計画を考えています。全ては、利用者の方へ『適切な支援を継続的に届けるため』に行っていることです。そして、スタッフが無理なくライフステージに合わせて長く働けるように。

共に笑顔で繋がれる関係を目指しています

当法人が行うヘルパー派遣事業や相談支援事業は『人』が資本です。利用者の方のエンパワーメントを支援するためには、支援者の育成が欠かせないと思います。利用者の方が「やってよかった！」「また、出かけたい！」と充実感を持たれている側で、一緒に喜べる支援者を育てていけるよう、働きやすい職場環境の構築に力を注ぎたく思います。利用者と支援者が相互にエンパワーメントしながら、共に暮らしの物語を創っていける関係になれることを目指しています。

（理事長　中野）

「やってみたい」を支援します